

たまかわ

2003

9

No.445

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA

(玉川村ホームページ) <http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp>

熱血



(7ページ)

二〇〇三年、今年の夏は...

華麗



(10ページ)

出会いと
ふれあい



(2~3ページ)

中学生国内研修 美ら島 沖縄の旅

青い海に感動！ そして平和の大切さを学ぶ

今年度の中学生国内研修事業は、7月28日から30日までの2泊3日の日程で沖縄県で行われ、泉・須釜両中学校の2年生99名が貴重な体験と学習をしてきました。

一行は、午前8時45分発の飛行機で福島空港から那覇空港に向かい、日本トランスオ



JTAでの発見

泉中 小林安貴くん



整備工場での見学や講話で、なぜ飛行機は飛ぶのかという疑問がありました。揚力が生まれ飛ぶことが分かり、解決することができました。

また、少しでも軽くなるように工夫された床がとても薄く、壊れてしまわないかと思いましたが、ハチの巣構造になっていて薄くても大丈夫だと知り、驚きました。

エンジンは、空気を大量に取り込み、圧縮して燃料と混合することが分かりました。また、電子機器がとても多く、一つの部品で何千万円もする物があることを知り、壊したら大変だと思いました。

修理する工具の動力源が電機ではなく、空気をいりベツトを打つことを聞き、また驚きました。

その他いろいろな説明を聞



糸数壕

泉中 坂本 望さん

沖縄は、きれいな青い海ときれいな花の咲きみだれる自然豊かな平和な所だと思っていました。しかし、戦争を経験していない私は、この研修旅行で糸数壕に行き、戦争について考え直しました。

壕の中に入ってみると真っ暗でとても足場が悪く、こんな所に避難して治療なども行っていたなんて信じられませんでした。暗い壕の中で早く戦争が終わるのを待ち続けていたと思います。そこで黙祷をしました。その1分がとても長く感じました。

ガイドさんが、「命は尊いもの。戦争は残酷なこと」と言っていました。その言葉がとても胸にひびきました。この平和学習を通して命の大切さと尊さ、戦争の残酷さ

を体と心で感じる事ができました。そしてもう二度と戦争をおこしてはいけなと思います。この研修旅行で沖縄戦を知り、沖縄の人々の戦争への想いを感じる事ができ、とても心に残る研修旅行になりました。

「ひめゆり平和祈念資料館」を見学して

須釜中 野本昂史くん



平成15年7月30日、僕は「ひめゆり平和祈念資料館」を見学してきました。

日本で唯一地上戦になった沖縄。この戦争によってひめゆり学徒隊219名の尊い命が、戦火の中に一瞬のうちに消えてしまったのです。

資料館に行くはず、大きなガマが目に入りました。この暗闇の中で、毎日いったいどんな生活をしていただろう



地元中学生との交流

私が沖縄研修で楽しみにしていたことのひとつが、沖縄のサンゴ礁で泳ぐということでした。研修2日目、私はトカシクビーチに着きました。

渡嘉敷の空は青く、海は太平洋の荒い海とは違って、透き通っていて、おだやかでした。まず、インスタラクター

の方から、サンゴ礁を守るために、自由遊泳するところが決まっていることや、水がとても貴重だという話を聞きました。いよいよマリンスポーツに挑戦です。

私はスーパーフロートから始めました。足の下に広がる美しいサンゴ礁、その中を泳ぐ鮮やかな色彩の魚たち。

カヌーではさらに数多くのサンゴや生き物を見ることができました。青い空の下で、素晴らしい自然を満喫し、友情も深まりました。この有意義で楽しかった時間は私達人一人の心に、いつまでも輝き続けていくと思います。企画をいただいた皆さんに感謝するとともに、美しい自然が汚れてしまわないようにと願っています。

飛行機搭乗体験

須釜中 熊谷美香さん



きましたが、どれも知らなかったことなのでとても勉強になりました。僕は、福島空港にも整備工場のような所があればいいと思いました。貴重な所を見学させていただき感謝したいです。ありがとうございました。

7月28日、私は沖縄研修旅行に行きました。前日は曇り空で雨が降らないかと心配でした。私は飛行機に乗るのが初めてでした。しかし恐怖感よりは楽しみの方が大きく、早く飛ばないのかと待つていました。しばらくすると、フライトアテンダントさんの「今から離陸します」というアナウンスがありました。

エンジンが噴射したと思うと同時に、ゴーツという音がしてスピードが急上昇。飛行機全体が傾いたと思ったら、

浦添市での中学生との交流

泉中 溝井勝博くん



沖縄研修旅行の2日目、僕は浦添市民会館で若太陽というメンバーの人達との交流会を行いました。

僕達が一時間も送れて会場に入ったにも関わらず、若太陽の人々はとても温かく迎え

海洋研修

須釜中 草野加緒理さん



本当によかったです。このような体験ができたことに心から感謝します。ありがとうございました。

一時間という短い交流会でしたが、若太陽の人達との演奏はとても楽しく、とても心に残っています。

その後、代表で鈴木豪君と絵里香さんが、若太陽の人達と一緒に太鼓の演奏もしました。僕達も小さな楽器を演奏したりした後、最後に若太陽の人達と一緒に踊りました。

入れてくださいました。交流会では、若太陽の皆さんの太鼓と、シーサーの舞の実演を見ました。一人一人の太鼓の音もびったり合っていたし、シーサーの着ぐるみを着た人達の演技は、本当に生きていくように感じました。

9月24日から30日は結核予防週間

根絶していません。 我が国最大の感染症

結核は過去の病気ではありません。

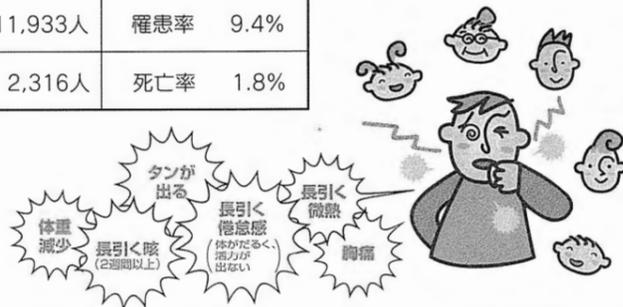
結核は、今でも1日に97人の新しい患者が発生し、6人が命を落とす油断のできない状況です。「結核」を過去の病気と錯覚していませんか？結核が忘れられていることも、根絶しない原因の一つなのです。

'99年、結核患者が38年ぶりに増加したことを受け、厚生省(現:厚生労働省)が結核緊急事態宣言を発令しています。

結核新登録患者数(新たに結核と診断され登録された患者)	32,828人	罹患率	25.8%
塗沫陽性患者数(タンの中に結核菌が見つかった患者)	11,933人	罹患率	9.4%
結核死亡数	2,316人	死亡率	1.8%

風邪のようで風邪じゃない…それが結核です。

結核は、人から人へとうつる病気「感染症」です。自分の健康だけでなく、家族や周りの人の健康を守るためにも、これを機会に是非結核の新しい知識を身につけて下さい！



結核ってなあに？

●結核菌を吸い込むことで起こる感染症です

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者が咳やくしゃみをした時に、飛び散るシブキの中の結核菌を吸い込むことによって起こる(空気感染)病気です。タンの中に菌を出していない軽症の場合は、他人にうつす恐れはありません。

●感染しても発病するとは限らない

結核菌を吸い込んで、身体の免疫機能により、菌が押さえつけられたまま活動しないケースがほとんどです。身体の免疫力・抵抗力が低下し、菌が活動を始めることを「発病」と言い、発病するのは、感染した人の10人に1人程度です。発病後、悪化すると臓器、リンパ節、骨、関節、血液、脳膜などに病巣をつくります。

結核の検査・予防

●感染・発病を知るには？

咳・タン・熱・だるさ等風邪に似た症状が2週間以上続くならば、近くの医療機関で受診しましょう。単なる風邪と自己判断せず「結核では？」と疑うことが大切です。医療機関では必要に応じて、胸部エックス線検査、タンの検査、ツベルクリン反応検査等を行い診断します。

●予防するには？

結核は過労・睡眠不足・栄養不足により抵抗力が弱まった時に発病するので、日常の健康管理が大切です。また、大人に比べると乳幼児は、髄膜炎(脳膜炎)や粟粒結核(結核菌が血管を通じて全身へ散らばる)など重症になる危険が高いです。しかし、BCG接種によって予防することができます。特に、生後3か月～6か月に接種することが理想です。

結核の治癒

●薬をきちんと飲めば治ります

万一、結核になっても6か月～9か月間、毎日薬を飲み続ければ治癒できます。周囲の人に結核をうつす恐れのある場合は入院の必要がありますが、タンの中に菌が出なくなったら外来治療となります。反対に、不規則な服用を続けると、治癒するまでに何年も要することになります。結核菌が薬への抵抗力をつけ強力な「多剤耐性菌」となり、ほとんどの薬が効かなくなるからです。そこで、服薬支援のための方式としてDOTS(ドッツ)が普及しています。

※DOTS

DOTS(直接服薬確認療法)とは、患者さんが薬を飲むのを医療従事者が目の前で確認し、服薬を支援することで、現在の標準的な治療方式として大きな成果をあげています。

米政策が変わります!! 水田農業の未来について地域で考えましょう

ご存じのとおり、米をめぐる状況は、消費量の減少、稲作農家の高齢化等、年々厳しくなっています。このような状況を打開し、水田農業の未来を切り拓くため、16年度から米に関わる政策が大きく変わります。

16年度からの新しいシステムは？

キーワードは「需用に見合った売れる米づくり」

- 農業者の皆さんが、本当に売れる米を売れる量だけ作るという「売れる米づくり」が基本になります。
- 農業者の皆さんが売れる量を把握する手助けとなるよう、生産調整の配分が「米を作らない面積」から「米を作る数量」によるものになります。
- その結果、農業者の皆さんは、収量は低いが高品質な米づくり、安全・安心な米づくりなど、多様な米づくりに取り組むことが可能になります。

農業者の皆さんの経営判断・自己責任が大変重要になります

- 農業者の皆さんは、「売れる米づくり」とはどのようなものなのかを自分で考え、判断していかなければなりません。

助成制度が大きく変わります ～全国一律から地域で考える助成制度へ～

<産地づくり対策>

地域で話し合っ、助成金を何にどれだけ使うか決めることができる対策(→「地域水田農業ビジョン」の策定が交付要件)

<稲作所得基盤確保対策>

米価が下落した場合に下落幅の一定割合を補てんする対策

<担い手経営安定対策>

米価下落の影響を大きく受ける担い手について、稲作所得基盤確保対策に上乗せして、一定割合を補てんする対策

<集荷円滑化対策>

豊作によって生じた過剰米を円滑に処理するための対策



地域の農業のあり方を地域の皆さんで考え、地域水田農業ビジョンを作ります

地域の水田をどう活用していくのか、産地づくりをどうするか、どうしたいのか、産地づくり対策の助成金をどのように活用するのかについて、地域の皆さんで十分に話し合い、その結果を「地域水田農業ビジョン」として取りまとめます。

そして、平成20年度から

平成20年度には、「農業者・農業団体を主役とするシステム」に移行します。主役は農業者の皆さんです。平成20年度の本番に向け、今から準備を始めましょう。

問い合わせは、農政課 ☎57-4627 JA玉川営農生活センター ☎57-3883 まで



中畑 清さん 野球人生語る たまかわ文化体育館落成記念 文化講演会

8月29日、たまかわ文化体育館において、同体育館落成記念文化講演会が行われ、野球評論家の中畑清さんが、「中畑清の野球人生」をテーマに講演しました。

長嶋茂雄氏を目標にして野球に打ち込んだ少年時代やプロ野球選手時代、現巨人軍の原監督との現役時代の出会い、またコーチとして指導した松井秀喜氏のエピソードなどをユーモアを交えながら話しました。

また、車田村長などに突然話を振ったり、会場の観客をステージに上げて一緒に話をしたりと、常に会場と一体となって話を進め、ほぼ満員となった観客の笑いを誘っていました。



予定の時間をオーバーしての熱血ぶりに、最後まで会場は盛り上がりを見せました。

大きな思い出 野球教室

中畑さんは、文化講演会に先立ち、村民グラウンドで泉、須釜両中学の野球部員に野球の技術指導を行いました。

ピッチングやバッティングなどについて、分かりやすく、ていねいに指導し、「練習、努力、つらいことから逃げない」「目標を決めてみんなに公言する、そしてその目標に突き進み有言実行することが大事」などアドバイスしました。中学生たちは皆真剣な表



情で、中畑さんの熱血指導に聞き入っていました。指導終了後に、代表して曲山広之君(泉中)が「ありがとうございます」とお礼を述べました。中畑さんを目前に一生懸命がんばりま

ご存知ですか。児童扶養手当と特別児童扶養手当

母と子どものしあわせのために「児童扶養手当」

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障害がある場合には支給されます。

受給資格者

次のいずれかに該当する18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある(心身に一定の障害があるときは20歳未満)児童を監護している母、又は母にかわってその児童を養育している人。

- ①父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童
- ②父が死亡した児童
- ③父が一定の障害の状態にある児童
- ④父の生死が明らかでない児童
- ⑤父が引き続き1年以上遺棄している児童
- ⑥父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ⑦母が婚姻によらないで生まれた児童
- ⑧孤児などで、父母がいるのか否か不明の児童



障害のあるお子さんのために「特別児童扶養手当」

特別児童扶養手当は、身体または精神に障害のある児童を監護、又は養育している人に支給されます。

受給資格者

身体又は精神に中度、又は重度の障害を有する20歳未満の児童を監護している父もしくは母、又は父母にかわって児童を養育している人。

その他くわしくは健康福祉課 ☎57-4623までお問い合わせください。

玉川第一小学校に栄冠

8月28日に石川町で開催された石川地区小・中学校音楽祭にて、玉川第一小学校が合唱の部で金賞に輝き、県大会出場を果たしました。同校では、県大会出場を目標に精一杯練習を積んできており、見事結果に結びつけました。

9月3日に行われた県大会でも、さわやかな歌声を披露し、銅賞を受賞しました。

また、玉川第一小学校では平成15年度石川地区小・中学校緑化花壇コンクールでも、最優秀校に選ばれました。同コンクールでは、他にも川辺小、須釜小、須釜中が優秀校に、四辻分校が優良校に選ばれています。



きれいに整備された玉一小的花壇

英語弁論大会で第1位



鈴木 裕里枝さん

第50回の石川地区中学校イングリッシュコンテストが9月2日に石川町で開催され、創作の部に出場した鈴木裕里恵さん(泉中3年)が第1位に輝きました。また暗唱の部では大木友里子さん(須釜中2年)が3位に入りました。



車田教育長に県大会出場を報告した玉一小的みなさん

たまかわの夏 第15回玉川夏まつり

夏とは名ばかりの、毎日はずきりしない天候が続いていた今年の夏ですが、今年で15回目となる玉川夏まつりが行われた8月13日は違っていました。この日は朝からぐんぐんと気温が上がり、夏祭りの開催に合わせたように夏空が戻ってきました。



オープニングを飾ったたまさこい踊り

当日は正午過ぎより開会式が行われ、テープカットなどのセレモニーの後、よさこい踊りで元気に夏まつりの幕が開けました。この後、ステージでは、芸能発表や歌謡ショー、太鼓の演奏、また空手の演武などと次々に多彩なイベントが行われ、会場に集まった大勢の観客から盛んな拍手が送られ、大いに盛り上がりました。



大迫力の空手の演武



焼きそば作りも大忙しでした



心地よい風に吹かれて力又一教室

阿武隈川では、恒例のカヌー教室が行われ、親子連れなどが気持ち良さそうにオールを漕いでいました。夜になると益々人も多くになり、出店なども多くの人で賑わいました。今年も、初めて盆踊り大会も行われ、会場に集まった人たちが、見るだけではなく参加する夏まつりとなりました。この後の大抽選では、番号が読まれるたびに一喜一憂の声。そしてお待ちかねの花火大会では、美しい光りと音に歓声と、最後までゆく夏を惜しんでいました。

年金は世代と世代の支え合い

国民年金、厚生年金などの公的年金は、年金額が賃金や物価にスライドするので、将来の経済社会がどのように変わろうとも、その社会での生活水準に合った年金額が保障され、かつ、どんなに長生きしようとも終身受給できる仕組みとなっています。このようなことは、個人年金等では難しく、社会全体で連携し、世代間扶養の仕組みをとることで初めて可能となります。

国民年金の加入手続きを行なわなかったり、保険料を納めなかったりすることは、このような社会連帯の輪の中の義務を果たしていないことになり、がんばって保険料を支払っている方々に迷惑をかけていることとなります。

また、年金給付に必要な費用の3分の1は国庫負担があることや、障害年金や遺族年金の保障もあり、さらに、保険料は社会保険料控除の対象となり、全額が所得から控除されることなど様々な有利な点もあります。かつてしっかりと義務を果たした保険料を納め、現在年金を受給している方々は、年金制度を高く評価しています。みなさんの周りにもたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。こうした年金制度の意義や役割、大切さを広くみんなで理解していきましょう。

伝統の舞 南須釜の念仏踊り

無形民俗文化財に指定されている南須釜の念仏踊りが、旧盆の8月14日(木)に東福寺で行われました。

当日はあいにくの雨のため本堂の中で踊りとなってしまいました。大勢訪れた報道関係者や見学者などに艶やかな舞いを披露しました。

この後、踊り子たちは新盆の家々へと向かい、御霊の供養を行いました。



披露された吉川英治旗



吉川英治旗を披露

石川剣道連盟記念大会

石川剣道連盟(野口庄嗣会長)の第50回記念大会がたまかわ文化体育館を会場に、8月24日(日)に行われました。

石川管内から個人戦に約150人、団体戦に43チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

また当日は、石川剣道連盟の優勝旗「吉川英治旗」も披露されました。「吉川英治旗」は、宮本武蔵の作者で有名な文豪吉川英治氏より贈られたもので、おそらく日本で唯一ではないかとのこと。

大会の結果は次のとおりです。

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| (村関係のみ) | 小学4年生以下の部 | 3位 真野目 |
| 小学5年生の部 | 優勝 小針 | |
| 中学女子1年生の部 | 優勝 小針 | |
| 中学女子2年生の部 | 優勝 宗形 | |
| 優勝 飯田 | | |
| 3位 飯田 | | |
| 中学女子団体の部 | 優勝 泉中学校 | |
| 高校団体の部 | 準優勝 玉川支部A | |

桃のプレゼントに大喜び

8月27日(水)に、すがま幼稚園と須釜児童館の子どもたちに桃のプレゼントがありました。

北須釜の福島空港観光果樹園からのご厚意によるもので、当日は代表の佐久間安直さんから園児ひとり一人に袋詰めされた桃がプレゼントされました。

同果樹園では毎年桃畑に園児たちを招待し、桃狩りの体験をさせていましたが、今年は蜂が

多く、子どもたちが畑に入るのは危険だということで、今回のプレゼントとなりました。

この日は他にも、みんなで食べるようにとたくさんのお菓子をいただきました。

さっそく先生らに皮をむいてもらおうと、園児らは「おいしい、あまーい」と大喜びで食べていました。



すがま幼稚園でのようす



須釜児童館でのようす



～玉川夏まつりより～

ご案内

秋の行政相談所開設について

10月20日から26日の一週間は「秋の行政相談週間」です。

村では以下のとおり行政相談所を開設し、行政相談委員が国、県及び村や公団・公庫、NTTなどの仕事についての苦情や意見・要望などをを受け付け、問題の解決を促進しますので、お気軽にご相談ください。

◆日時場所

平成15年10月22日(水)
午前9時から11時30分 役場北庁舎会議室
午後1時30分から4時 須釜公民館講義室

◆相談委員 真野目 喜正 電話57-3001

お気軽にご相談ください

全国一斉 司法書士無料法律相談

10月1日は「法の日」です。

福島県司法書士会では、登記や供託の手續、訴訟書類の作成などについての無料法律相談会を行います。

◆相談内容

不動産の相続・売買・保存などの登記について
会社の設立・役員変更・増資などの登記について
家事審判手続き・訴訟書類の作成などについて

※相談は個別にうかがい、相談内容はすべて秘密にいたします。

◆開催日時

10月4日(土) 午前10時から午後3時

◆開催場所

- うすい百貨店 10階特設会場
- メガステージ白河 エルス館(ダイユーエイト隣)

◆相談員

福島県司法書士会会員

◆問い合わせ

福島県司法書士会 電話024-534-7502

募集

建築形態制限見直しについての意見募集について

都市計画区域内の用途地域の指定のない区域(白地区域)では、現在建ぺい率が70%、容積率が400%といった緩やかな建築形態制限が一律に定められています。

平成12年度の建築基準法改正により、相隣紛争や局所的な交通渋滞等の未然防止のため、現在の緩やかな建築形態制限を見直すこととなりました。

これに伴い、県では素案の閲覧と説明会を開催し、広く皆さんのご意見を募集します。

◆素案の閲覧

- 期日 10月6日(月)から10月17日(金)
(土・日曜日、祝日を除く)
- 時間 午前8時30分から午後5時
- 場所 福島県県中建設事務所及び村建設課

◆説明会

- 日時 10月27日(月) 午後6時より
- 場所 たまかわ文化体育館 クラブハウス

◆意見の募集

- 11月末日までに、郵送、ファックス、または電子メールで提出してください。

◆意見の提出先

県中建設事務所 建築住宅グループ
住所 963-8540 郡山市麓山1-1-1
電話 024-935-1462
FAX 024-935-1407
メールアドレス kentyuken@pref.fukushima.jp

売り切れ次第終了!

オータムジャンボ

1等前後賞あわせて2億円

発売期間 9月25日～10月10日

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

あぶくま高原と世界の蝶展

福島空港3階特設会場にて、8月3日から10日までの約1週間、あぶくま高原と世界の蝶展が開催されました。
阿武隈高原に生息する希少種の蝶や世界の蝶類の標本、カブトムシの標本など約8,000点余りが展示されました。
夏休み期間中とあって、各地から子供連れの家族などが終始訪れ興味深く見入っていました。



ふるさと少年教室

平成15年度のふるさと少年教室が8月5日から開講しました。村教育委員会の主催で、玉川第一小学校と川辺小学校の4、6年生を対象に、8月と12月にふるさと工芸や野外研修など6回の教室が開催されます。
8月7日(木)には、南須釜の阿部洋子さんによる民話と紙芝居が行われました。未来博にも出演した阿部さんのやさしい口調の語り、参加した児童たちは、皆真剣に聞き入っていました。



県警音楽隊の華麗な演奏

8月9日(土)、たまかわ文化体育館において、福島県警察音楽隊による演奏会が行われました。
演奏者と華麗なドリルを演じるカラーガード隊により編成された約30人の音楽隊により、アニメソングや演歌など約1時間に渡り演奏されました。特に動きながら演奏するドリル演奏は大いに会場を魅了し、アンコールの声が掛かるほどでした。



泊まり込みで実習した清君(左)と指導された柳枝さん

畜産の担い手を育てる

北須釜の柳枝義二さん(村認定農業者会会長 宅で、県立農業短期大学校畜産科の実習生による畜産の実習が行われました。
実習生の渡邊君は福島市の出身で実家は非農家ですが、動物が好きで高校でも畜産を専攻していました。
柳枝さんは、繁殖牛、肥育牛合わせて70頭余りを経営する畜産農家で、福島県の農業指導士も務めておられます。渡邊君と一緒に牛の世話をしながら、永年の経験を活かした指導で、未来の畜産の担い手育成に尽力されています。



大いに会場を魅了したドリル演奏

当日は台風10号の影響で朝から荒れ模様でしたが、大勢の家族連れなどが訪れました。

念仏踊りの版画寄贈

いわき市の版画家坂本勇さんが8月22日(金)に役場を訪れ、村に念仏踊りの版画を寄贈しました。
贈られた版画は6号の大きさで、念仏踊りを踊る少女が描かれており、早速、役場玄関に飾られました。
坂本さんは、今まで県内外はもとよりアメリカ、フランスなどで個展を開いています。9月19日から23日までは福島空港で個展を開く予定で、約60点の作品を展示することになっています。



車田村長に版画を手渡す坂本さん(左から2人目)

9月10月の健康ごよみ

- ◆9月
24日(水) 機能訓練 ……保
午前10時～
- 26日(金) たまかわ健康クラブ ……保
午前10時～
- ◆10月
3日(金) 1歳6ヶ月児健診 ……保
午後1時～
- 9～10ヶ月児健診 ……保
午後1時30分～
- 7日(火) ポリオ予防接種 ……保
午後0時45分～
- 9日(木) すくすくクラブ ……保
午前10時～
- 14日(火) 子育て何でも相談日 ……保
午前10時～午後4時
- 15日(水) 3～4ヶ月児健診 ……公
午後1時30分～
- 22日(水) 機能訓練 ……保
午前10時～
- 24日(金) 3歳児健診 ……保
午後1時～
- 29日(水) 育児教室 ……保
午後1時30分～

保:保健センター 公:公立岩瀬病院

お誕生おめでとうございます

(8月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
川 辺	曲 山 佳 那	知 宏
小 高	溝 井 希 亜	直 樹
竜 崎	小 林 葵	浩 士
南須釜	馬 上 健	寿
〃	吉 村 和 奏	和 美

おくやみ申し上げます

(8月届出分)

地区名	死亡者氏名	世帯主名
川 辺	坂 本 栄	栄
〃	山 田 イ ノ	目黒広行
中	角 田 武 雄	武 臣
南須釜	大 野 百	正 徳

広報への掲載を希望されない場合は、窓口への届け出の際にお申し出ください。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。
(村社会福祉協議会)

- 川 辺の 坂本由一さんから
- 蒜 生の 真弓喜夫さんから
- 中 の 角田武臣さんから
- 南須釜の 大野正太郎さんから

村のようす

(15年9月1日現在)

	1,849戸(-2)
	7,569人(+13)
	3,765人(+7)
	3,804人(+6)

今月の納税

国民健康保険税 第3期分
【納期限は9月25日(木)です。
忘れずに納めましょう】

10月10日は
住民参加
「地域安全の日」
です。

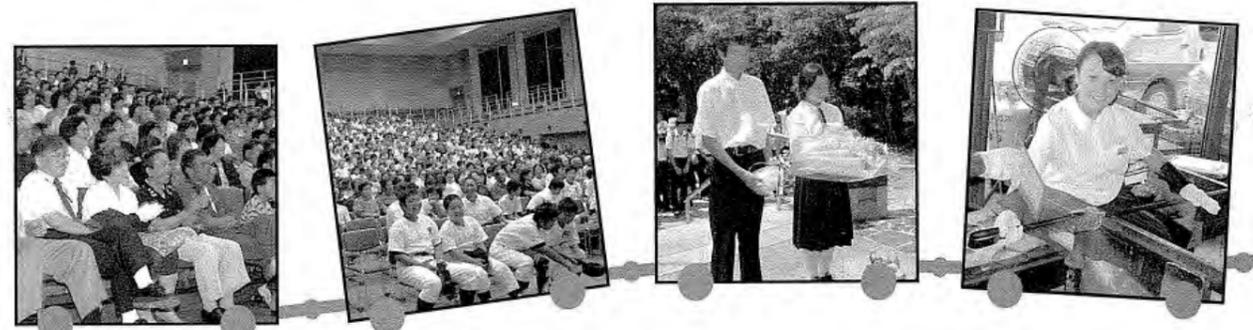
自分の身は自分で守ろう！
地域の安全は地域で守ろう！

『身の用心』

9月21日から30日まで
秋の全国交通安全運動



スローガン
『反射材 夜道の
あなたが光ってる』



～文化講演会より～

～中学生沖縄研修より～

文 芸



花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

悲しみを顔に出さざる師を迎えわれらは徳ぶ今日も秘かに
朝霧にほのと包まれ桐の花匂うが如く咲きたる畑 小針 登里
木苺の熟れしともげば指先に刺のさされて悪さの仕掛け 小針 みね子
朴の葉のしきりに散らす玉露は真珠のごとし朝かげの中 小針 愛子
押し車に辿る小道は若き日の鍬を担ぎて通いたる道 真弓 はん
足もとに散りし椋の葉翻り息吹き返す七月の風 溝井はなよ
書き連ね眺めて暮らすわが詩の墨のしずくは泪の如し 吉田 英祐
川崎 雄子

お知らせ

知っていますか？建退共制度

建退共制度とは建設現場で働く方々のための業界退職金制度です。全国どこでも、また事業主が変わっても退職金は通算できます。

- ◆加入できる事業主
建設業を営む方なら誰でも加入できます。
- ◆対象となる労働者
ほとんど全ての建設業の現場で働く人。
- ◆掛金
●日額300円(10月1日からは310円)
●掛金は全額事業主負担で、損金又は必要経費として処理できます。また全額非課税で国が一部補助をします。
詳しくは、勤労者退職金共済機構 建退共福島県支部 ☎024-523-1618 まで

住宅・土地統計調査が行われます

10月1日、全国で住宅・土地統計調査が行われます。この調査は住宅・土地に関する最も基本的な調査で、国や都道府県・市区町村が住宅建設計画、都市計画、環境整備計画などを立案していく上での基礎資料となります。対象となった世帯には、知事が任命した調査員が調査票を持ってお宅にお伺いしますので、ご協力をお願いします。なお、調査内容は統計を作成するためだけに使用するもので、その他の目的には一切使用しません。

◆問い合わせ
企画財政課 ☎57-4629

法人土地基本調査・法人建物調査にご協力を

本年10月に「法人土地基本調査及び法人建物調査」が実施されます。調査結果は統計資料として公表し、行政利用は基より学術・研究機関、企業等でも幅広く活用されます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ
県庁土地水調整グループ ☎024-521-7124

さるなし俳句会八月句会詠草

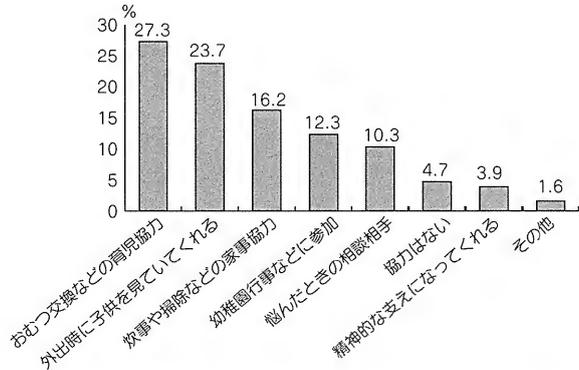
爽かや風呂出でてし児の逃げまどひ
広重絵飾りし宿や蝉しぐれ
暮洗うこの静寂を破るは誰
日焼子のどすんと背なの荷を卸す
愚痴ひとつ申して霧の晴れており
干し梅や秘伝習いし母は亡き
水に浮く雲に遊びぬ水すまし
夜長月淋しと残す詩ひとつ
仁 美 真 春 由
美 公 枝 華 知 恵 記 仁



こんにちは保健師です

【シリーズ 母子保健⑥】

今回は、父親の具体的な育児協力についてお伝えします。



父親の育児協力の中で多かったのは、おむつ交換や母親が不在のとき代わりに子どもを見るなどの子どもに対する直接的育児や家事の手伝いでした。しかし、約5割の父親は自分の子どもの世話を日常的に実施していない傾向があり、さらに育児にほとんど参加しないという父親が5%近くいることがわかりました。また、育児の相談相手になったりねぎらいの言葉をかけるなど母親への精神的サポートに関しては、わずか14%と低い結果となり、育児にかかる精神的な負担がどれだけ大きいかということについてあまり理解されていないようです。母親の育児の悩みの中で精神的なストレスに関するところが一番多くあげられていることから、父親が最も身近な存在として積極的に精神的サポートができるよう意識を高めることが必要です。

次回は、妻が夫に期待する育児の役割についてお伝えします。



生き生きサークル

柔道友の会

- 代表 佐藤 栄策
- 連絡先 ☎57-4456
- 練習日時 木・金曜日 午後7時～9時
- 練習場所 玉川村体育センター

柔道を通して体と心を鍛えることを目的とした柔道友の会は、約3年前に発足しました。

当初は佐藤代表とその家族だけでの練習でした。「子どもにも柔道を教えたい」との思いで始めたサークルは、現在小学生と中学生を中心に10人弱の会員。人数的には少ないですが、少人数ならではの個々に対する細かい指導ができるのは利点。小学生から習い始め、中学から高校へと進み、大会で活躍する生徒も出てきました。中には「練習が楽しみでしょうがない」という小学生も。

興味をお持ちの方は練習場所までどうぞ。

先日、法要で帰省した時、乗った水郡線の車窓から田園風景が広がり、なじみの駅が目に見え

び込んだ時は、胸がジーンとな

た。

私の小学生時代は、毎日のように道草をして返りました。道ばたで野イチゴを取って食べたり、桑畑に入って桑の実も食べたりしました。この道草から自然に学んだことがたくさんあったような気がします。私の子どもの頃は遊びに忙しい時代でした。

感じました。

ふるさとをいつまでも大切にしていきたいと思えます。

最高です。

今、私は介護老人施設で働いています。時々「ふるさと」を歌ってあげる時がありますが、「うさぎ追いかの山」と歌い出すと、なぜか自然とみんなも歌ってくれます。この歌からそれぞ

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと

『ふるさとのぬくもり』

横浜市
鈴木理子さん
(竜崎出身)



友人と温泉旅行(右側が私です)